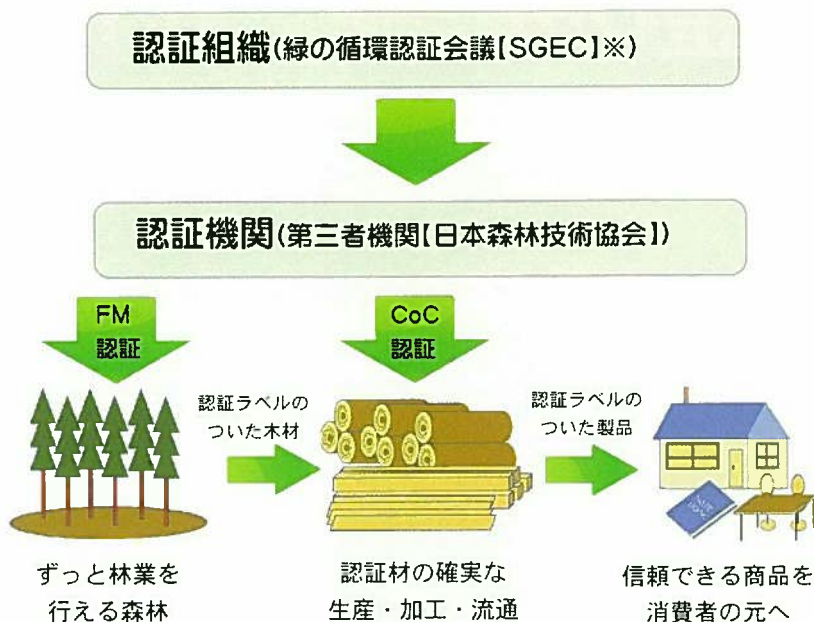


■森林認証のしくみ



◎認証組織(SGEC※)から明示された基準が満たされているかを専門の第三者機関(日本森林技術協会)が審査し、認証されるとラベルがつけられます。

◎ラベルがつけられた木材や木材製品は、違法伐採されたものではなく環境に配慮し、持続的に林業を行える森林から生産されているという証になります。

◎消費者はラベルがつけられた商品を選択し、購入することで、持続可能な森林経営を支援することに繋がります。

※SGEC(一般社団法人 緑の循環認証会議)…
・2003年、林業団体や環境NGO等によって日本で発足した組織。2016年に国際的な認証機関であるPEFCに相互認証され、木材輸出における証明が可能になった。

●森林認証はこれからどうなっていくの？

今後、森林認証制度はますます注目される見込みです。全国、久万高原町、そして当組合で森林認証を取得する動きが高まっています。

全国的な動き

- 🌲 2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックで多くの認証材が使用される見込みです。
- 🌲 今後の公共建築物に認証材が使用される傾向にあります。



久万高原町の動き

- 🌲 久万高原町森林認証協議会が発足されました。
- 🌲 町内すべての製材所・市場の森林認証取得が目指されています。

未来へつながる
森林づくりの
ために



活性化センターの 取り組み

- 🌲 FM認証を取得しました。
- ※活性化プロジェクトの経営計画に参加している山は全て認証森林になります。
- 💡 組合全体で認証材を生産供給できる体制を整えています。



事業部の取り組み

(久万市場・久万事業所・父野川事業所)

- 🌲 CoC認証の取得を目指しています。
- 💡 山主さんの山から出た材を少しでも有利に販売する努力をしています。